

令和6年度尾張旭市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本地域における基幹作物は、水稻を主体に果樹（いちじく）、露地野菜があり、いずれも零細な家族経営である。担い手への農地集積は進んでいるが、農業従事者の高齢化や後継者不足、不作付地の拡大、宅地化等により作付面積の維持が課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

- ・ 果樹の生産の誘導と需給動向に即した高品質果樹の生産を図り、担い手農家の育成や合理化、6次産業化などを旨す。
- ・ 野菜を転換作物として位置づける。また、限られた優良農地の中で地域の実情に即した野菜の生産振興を図るため、特産品のプチヴェールをはじめとした露地野菜の栽培技術の改善を推進し、生産の安定・向上を旨す。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本市の農地の利用状況は、水田が大半を占め、一部畑作がある。水田については、個人農家の多くは自家消費で、主食用米栽培が大半となっている。担い手は、農地の利用集積を図る中で、米粉用米を中心に作付けし、一部、高収益作物を導入している。これらのことから、本市において、水田は主食用米、米粉用米等を栽培する水稻作中心に考えていく。水田利用状況の点検方法としては、営農計画書と現地確認を実施する。その結果、果樹栽培や野菜栽培などを継続して行っている水田について、畑地化の可能性を検討する。畑地化については、その水田所有者及び耕作者に働きかけを実施し、畑地化を承諾された場合に、実施する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

良質な米づくりを目指して適地適作を基本に銘柄産地の育成と、土づくり、適切な栽培管理、適期収穫、適切な乾燥調製を図る。また、地域ぐるみの農地の利用集積を図り、高性能農業機械、基幹施設の効率的利用による生産コストの低減を目指す。

(2) 備蓄米

該当なし

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

該当なし

イ 米粉用米

主食用米の需要減が見込まれる中、新規需要米として米粉用米の取組を推進する。地域の栽培指針に準じた施肥管理、適切な除草剤施用、土壌改良資材の施用等の取組により品質向上を目指す。

ウ 新市場開拓用米

該当なし

エ WCS 用稲

該当なし

オ 加工用米

該当なし

(4) 麦、大豆、飼料作物

該当なし

(5) そば、なたね

該当なし

(6) 地力増進作物

該当なし

(7) 高収益作物

ア 野菜

非主食用米同様、転換作物として位置付ける。また、限られた優良農地の中で地域の実情に即した野菜の生産振興を図るため、特産品のプチヴェールをはじめとした露地野菜の栽培技術の改善を推進し、生産の安定・向上を目指す。

イ いちじく

現在は稲葉地区の約 1ha で栽培されているが、短期間で生産の改善や果実需給の調整を図ることは困難である。生産の誘導と需給動向に即した高品質果実の生産を図り、担い手農家の育成や経営の合理化、6 次産業化などを目指す。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	54		40.1		40.1	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米	7.78		7.81		7.81	
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	3.00		3.02		3.02	
・野菜	2.00		2.03		2.03	
・花き・花木						
・果樹	1.00		0.99		0.99	
・その他の高収益作物						
その他						
・〇〇						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	米粉用米（基幹作）	米粉用米の取組	米粉用米取組面積	（５年度）7.78ha	（８年度）7.81ha
2	高収益作物（基幹作）	高収益作物（野菜・果樹）の取組	野菜取組面積	（５年度）2.00ha	（８年度）2.03ha
			果樹取組面積	（５年度）1.00ha	（８年度）0.99ha
			計	（５年度）3.00ha	（８年度）3.02ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は３年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:愛知県

協議会名:尾張旭市地域農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	米粉用米の取組	1	3,500	米粉用米(基幹作)	側条施肥の実施等
2	高収益作物(野菜・果樹)の取組	1	3,600	別紙のとおり)(基幹作)	通常の肥培管理をしていること等

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙

野菜	ナス
	トマト
	ミニトマト
	キュウリ
	ピーマン
	エダマメ
	エンドウ
	シシトウ
	ジャガイモ
	サツマイモ
	サトイモ
	トウモロコシ
	カボチャ
	スイカ
	タマネギ
	ネギ
	冬瓜
	ズッキーニ
	プチヴェール
	ヤーコン
	ニンニク
	イチゴ

果樹	イチジク
----	------